

軽米町百人委員会第1回しごと・観光部会議事録

○開催日時：平成29年8月1日（火）午後7時00分～午後8時15分

○開催場所：軽米町役場庁舎2階会議室

○出席者

委員：21名中17名出席

事務局：産業振興課 高田、小林、畑中

税務会計課 小笠原

再生可能エネルギー推進室 平

総務課 川原

○開会

（産業振興課長）

1 正・副部長選出

部長 下谷地忠一さん 副部長 荻谷雅行さん

2 議事

（部長） それでは早速議事に入ります。交流駅については、先ほど説明があった内容について、皆さんからのご意見をお伺いしたいと思います

（委員1） 軽米交流駅についてですけれども、まだ、資料の方を詳しく見ていなかったのので、今から見て意見を出していきたいと思いますので、よろしくお願いします。

（委員2） 交流駅に関して、おおざっぱに意見を言わせてもらえればと思います。高齢者・子供の支援を目的に作るっていうコンセプトですけれども、高齢者が自由に入れるようなスペースがちょっと少ないのかなあというのが最初印象にありましたのでそちらの方を検討していただければと思います。

（委員3） 交流駅に関してなんですが、地権者・隣接者説明会がありまして、その時にかなり突っ込んだ意見や質問がありました。実際に答えられてないものとかありました。とりあえずその中で、まず問題もかなりありました。

まず、お金はどうするのか？それから、ガソリンスタンド・ガスを供給している商店があり、そちらの消防法の関係とかどうなっているのか？それから、医療廃棄物がもしかしたらあるかもしれない。そちらの方、まだお調べになってないと思いますが、まだ答えはいただいておりません。それから、入り口がカーブなので、道交法になんか接触することはないのかということ？それと、交流駅は災害の避難場所になるのかどうか？なるとすれば、かつて水害で水がかなりあがった所です。ですからその場所は、はたして適切なのか。これも解決済みなのかどうかその後をお聞きしたい。それからあと夜間対応、夜ちょっと若者のたまり場になったりすると、地域住民に迷惑な環境が出来てしまうんじゃないか？それから、商店街へのアクセス道路がない。商店街の活性化を考えると、アクセス道路なんかも考えなければならないですね。もうひとつ、アンケート300名はどなたが対象だったのか？アンケートは、商工会の移転、それから、その時にバスターミナルみたいなもの、図書館も一緒というその時のアンケートだったはずです。それが交流駅のアンケートにすり替わってる感じがするん

ですけれども、その部分お答えいただいております。

まあ、こういうまだまだ問題はありますので、活発な意見、質問等みなさん。私特に隣接する人間ですので、関心をもっておりますので、皆さんも真剣に考えていただきたいと思います。

(委員4) 出来れば、私みたいに関東から戻ってくるような人がもっと増えてくれればいいなとか、そういう街になってくれればいいなという気持ちもどっかにあります。軽米が発展してほしいと、そういうことを話す友達も何人かおりますので、地域が発展してくれる、それに少しでも関わることができ、こういう意見があるんだということを勉強できればいいなと、そういう気持ちで応募させていただいているのでよろしくをお願いします。

(委員5) 交流駅のことについて、ものすごい大きな問題の中に入っていくのかなという風な気がいたします。それで実は、私が働いている職場の真後ろにこれが建つということもあって、ものすごい関心はあります。もちろん、それと同時に、町民のみんな本当に喜んでもらえるような、そういう風な形でもって建ててくださればいいなというのが実はあります。そしてもう一つは、今度建てようと予定している場所は、必ず土足のまま入れるような場所をお願いをしたい。もちろん、畳の部屋はこれでいいですけども、これは強く思います。どこに行っても靴を脱いで入るところはあまり見受けられないので、その辺を計画の中にぜひ取り入れてほしいなと思います。

(委員6) 交流駅については、産直施設を併設できないのかなという気がします。やっぱり常に人が集まって、賑わいのあるような施設になればいいなと思っております。

(委員7) この部会に参加させていただくにあたって、外から帰ってきた者の意見を言えればいいかなと思っています。軽米交流駅については、今日初めてどういう施設なのかを知りまして、図書館があったり、公民館があったりという機能があると知ったので、こんな立派な施設を建てるからには、軽米町民が集まって地域活性につながるような施設にしてほしいなという思いで。その助けとか、意見を言えるようにしていきたいと思います。

(委員8) 私は東京からここに帰ってきて、今の軽米がどんなものなのかわりと興味があって参加しました。交流駅については、この図面上だけでは、ちょっと想像があまりできない。なので、質問とか意見が、私の中で出来たら、発言しようと思います。

(委員9) 交流駅についてですけれども、これから、どういう施設になるかということを検討していくということですけど、事前の行事調査票を見ると、軽米町の中だけのイベントや行事で使われるような感じがあるので、せっかくバスターミナルとか他から交流もできるような場所なので、フォリストパークでやってるチューリップのイベントのように、もうちょっと他からも人を呼べるようにイベントとか開催していけるような施設になれば、地域活性化に繋がるんじゃないかなと思います。

(委員10) 昨日夏祭りの相談で、仲町の人たちと相談して、明日こういう会があるんだと言ったら、これからは人口も減ってくるし、あまりコストがかからない様に建てて欲しいと発言をしてくれと。建設コストもそうですが、ランニングコストもですね。ランニングコストがかからないように、コンパクトに建てていただきたいというのが、仲町の何人か集まった人達の意見で。それから、イベントと人数が書いてありますが、結構年を取った人のイベントが多くて、この先この300人400人500人の会場を埋めるようなイベントが出来るのかなという懸念もございしますが、今日見ると若い人もい

ますので、更新をするべきという言葉もあります。私たちが今やっている以上のことをやって、きっと盛り上げていただけたらと思って期待しております。

(委員 1 1) 交流駅については、地域の活性化に繋がるようになればいいなと思ってます。今後、交流駅については、意見、提言等頑張ってお出ししていきたいなと思います。

(委員 1 2) 交流駅については、防災面の方で何か意見を言えればいいのかと思っております。

(委員 1 3) 交流駅の企画のなかに、産直もできればいいのではないかなと思っております。あともう一つは、健康相談とか色々相談ができる相談室とかもありまして、とても便利だと思ってます。

(委員 1 4) 建設検討委員会に参加させていただいて、最初からこの建設に関しては色々なご意見等々を聞きながら、また私も2、3意見を申し上げた経緯もございます。今の段階で、まだ途中であることは皆さんお聞きになったと思いますけど、これから、その形が出来るだろうなと思います。ただ、交流駅に関して1つ私が思っていることは、軽米町全体でなんですけれども、何十年も前から活性化という言葉が非常に使われますが、何を以て活性化というのかと私自身疑問に思ってきたところです。その中で、ひとつは、何か新しいものが出来る、建つということが1つの活性化の出発かなと思っております。そういった部分で、この交流駅が形になっていくという、その形、財が活性化の出発、スタートかなと思っております。中身一体の細かい部分は皆さんのご意見を伺いながら、形になっていくと思いますけれども、特に若い方がいらっしゃいますので、その方々の意見を大いに取り入れて、皆が納得できるものにしていただけらなあと感じております。私も、年はいっておりますけど、それなりに、何か知恵がありましたら出したいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

(委員 1 5) 今回の委員会に関しましては、交流駅の問題が大きくクローズアップされておりますが、私個人的にも非常に施設に対して期待をしている一人でございます。観光に関わる仕事をしておりますので、この施設に対してどのような関わりが出来るか、また、どのような利用の仕方が出来るか、皆様方のご意見を伺いながら、今後勉強して研究してまいりたいという風に感じております。

(部会長) 交流駅については、これまで長く話もされてきましたし、私は視察研修にも行ってきました。私の考えとしては、せっかく高額な予算で建てる以上はこの先を見据えて、絶対後悔しないような建物にしていいただければいいと思います。そういう考え方で、若い人たちに、あの人たちがなったらざまの物を建てたと言われぬような建物を作りましょうということで話はしております。これからも、他の部会の方々と交流しながら、進めたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

(副部会長) 農業を長いこと勉強させていただいております。私も全く初めてでございますので、よく分かりませんが、滝沢市のビッググループに行く機会がございまして、素晴らしい施設だなあと感じを受けてまいりました。あれを大体二回り位小さくした施設になるのかなあという感じがしております。あそこには公民館的な部分と、それから図書館の部分と、それから販促施設と大きく3つのエリアになっておりますけれども、今回の交流駅も、もう少し先を見据えて、広がりを持った施設にしていいただければいいのかなあという感じがしております。それからもう一つは、ランニングコストの話も出たわけですが、せっかく、軽米町は再生可能エネルギーの町を宣言しております。そうした中で、どういう風な形をとるのか、太陽光になるのか、あるいは

色々な電源があると思いますけども、再生可能エネルギーを、今回の交流駅にも採用していただいて、ランニングコストの削減につなげればいいのかと私は思います。

【事務局自己紹介】

(部会長) それでは、皆さんのご意見を頂きましたけれども、軽米交流駅については、これからも、軽米交流駅建設検討委員会、他の部会の皆さんとともに考え、そして、出来るだけ、我々の考え方を通していければと考えておりますのでお願いします。

それでは、続きまして、部会のテーマの方についてお願いします。しごと・観光部会におきましては、軽米交流駅についてと、地域資源を生かした産業の活性化ということで、2つのテーマについて提案がありましたが、おおむねこの内容に沿って進めていってよろしいでしょうか。進めていく中で、数回部会がありますので、何かあればその時取り上げていきたいと考えております。軽米交流駅については、まだピンと来てないという方も多くいると思いますので、何か思いついたり、他の人からこういうことを聞かれたとか、そういう意見を言われたとかありましたら、その都度、この場で話していただければと思います。

それから、地域資源を生かした産業の活性化については、仕事の分野も様々な方が集まってきておりますので、なかなかこのテーマも広いですから、次回までに何かありましたら、考えて来てもらいたいということでもよろしいでしょうか。

自分たちの職業からでもいいですし、別の職業でもいいんですけども、その辺からこう迫っていけるものがあれば、次回に皆さんからお伺いしたいと思います。

(委員15) 質問ですけれども、今こうして交流駅の意見を聞いたりしているんですが、どういう風にすすめていくの。

(産業振興課長) 交流駅については、今かなり意見が出ましたし、既にもうお伺いしている意見等もかなりございます。出してもらった意見はまとめまして、5つの部会からあげてもらいます。それを建設検討委員会にお示しして、そこでまた揉んでもらう。先ほども説明がありましたけれども、今現在基本計画の段階です。それから、図面の方で専門の設計業者とご相談しながら、少しずつ改善しています。ただ、やはり、建設のインシャルコスト、ランニングコストの天秤もありますので、将来を見据えた場合には、どの程度がいいのかなという問題もあります。もちろん最終的には予算とのからみもございまして、ランニングコストを下げるための方策等も皆さんのご意見を参考にしながら、設計業者と相談し、進めていかなければなりません。全て網羅することは無理ですが、皆さんから色んな意見を出してもらって、それを反映していけたらなと思っていました。

最初に示したものよりは、かなりコンパクトになってます。ただ、あまりコンパクトになりすぎると、思ったのが出来ないという問題も出てきます。皆さんから意見を頂いたら、その意見を建設検討委員会で揉んでもらうという感じで、やっていきたいと思っています。その案が出来ましたら、町民の皆様、100人委員会の皆様にも再度お示しして、出来れば、11月の末あたりには最終的な意見を詰めていければいいのかとっております。

交流駅につきましては、今日どこの部会でもお話があると思います。ここの部会は、軽米交流駅についてと、地域資源を生かした産業の活性化と2つのテーマ。軽米交流

駅については、次回の部会でも意見を頂きたいと思っています。

その他に地域資源を生かした産業の活性化ということで、ここ2年、この部会で、軽米の地域資源といえば、やはり農業とか、観光を活かすためにどうしたら？とか、それから、子ども子育て、交流駅、産直はどうしたらいいか、いろいろあると思います。そういう意見を出していただいて、産業の活性化は、しごと・観光部会ではどうするのかを、2年かけて意見として提出していただくということで、出来れば現実的なものというか、実行しやすいものの意見を出していただけると、それを予算に反映できるのであれば、一番いいのかなと思います。そのために意見を出してもらいたいなと思いますし、軽米交流駅については、11月が基本的な、今のところの考え方のリミットになります。ただし、これから内容により、延びる可能性も無いとは限らないと思います。

いずれ皆さんから、現時点でのご意見をお伺いして、交流駅については11月末あたりを意見の最終日にしてもらいたいと考えています。この部会としては、地域資源を生かした産業の活性化ということで、皆さんの意見を集約して、町長に報告していただければいいのかなと考えています。

地域資源を生かした産業の活性化とありますが、部会長さんもお話ししましたが、農業、商業、観光業、それからいろんな職業がありますので、自由に意見を出していただいて、どのように話をするのかも次回の会議の時に話していただければいいのかなと思っています。

具体的に言えば、例えば会社を定年退職になって、家に農地があるから、農産物を作って産直で販売したいとか、そういうものは出来ないものなのか？あるいは、子供の遊べる場所を作るためにはどうしたらいいのか。産直があった場合には、それを利用して、産直だけでなく、子供も遊べる場所が必要とか。今、少子高齢化、働く人たちがかなり少なくなってきました。どこの産業も同じことです。人が足りないということは皆さん実感してると思います。それはどうしたらいいのかな？などということ、皆さんのご意見を出していただいて、それについてどうするのか？どんな考え方があるのか、それぞれの考え方で結構ですから、出していただければいいのかなと考えております。

(部会長) 必ず答えを出して決定するというものでもありませんので、まず、皆さんから色々な意見をいただいて、その中である程度お話しして、こうやったらいいのではないかというものを、町の方に提言するという考え方で、皆さんから考えていただければと思います。別に、テーマとして与えられたものだけに固執する気もありませんし、しごと・観光部会ですので、資源を活かしてどういう風にやっていくのか、先を見据えた考え方をもって、意見を出していただければと思っています。まず今日は初めてですのでこの辺でいいですか。

(委員 15) 1ついいですか。今答えられないのであれば次回でもよろしいですが、概算事業費13億円と大変大きい金額ですが、この事業費の手当てをどのように考えているのか。どういう方面から考えているのかもできれば、お聞きしたいと思っています。

(産業振興課担当主幹) 経済環境省の補助事業で、CO2を削減するための施設を建てた場合に、CO2を減少させるための設備にかかる3分の2を補助するという制度があり、4月末ごろ仙台市に行って、環境省の方と打ち合わせしてきております。CO2を削減できるようなサッシ類を使えば、その経費にかかる経費の3分の2をあげますよとか、

そういう補助事業があります。補助事業を活用できる部分については、いろんな制度を今考えておりまして入れたいと思っております。残りは、やはり起債になります。過疎債とかですね。

(委員 15) 起債は全体のどれくらいの割合を考えているんですか。概算で。

(産業振興課担当主幹) 今のところは何とも言えないんですが、過疎債を活用するのであれば、軽米町は年間6～7億くらいになっています。ただ現在は道路整備に、おおむね過疎債を活用しています。この過疎債は、例えば話をしますけども、全体で18億円かかって、例えば補助金を8億円いただいた。1年で当然建物は建てられませんので、2年度にまたがった施工になります。そうした場合、8億円補助金をもらえたとした場合、残り10億円、これを2年度に分けると5億円ずつ、これに過疎債を入れていくとした場合は、その5億円に対して、9割お金を貸していただいて、7割が交付税で返ってきます。残った分が、単独分の持ち出しになると思われま。

(委員 15) 私が資金話を伺いましたのは、あくまでも噂話ですが、いちい荘建設のための基金をこちらに流すのではないかという話をしている方がいるんですよ。だから、私はそうは思いませんけども、そういう話もあるものだから、どういう風な資金の手当てをするのかなと思って今伺いました。

(産業振興課担当主幹) 補助事業を今見つけています。一つは来年申請可能な補助金は見つけています。それ以外についても、新しく創設される制度等は見逃さないように見ていきたいと考えています。

(委員 15) いずれ、いちい荘の建設予定資金というのは一切ないわけですね。

(産業振興課担当主幹) ないです。

(委員 15) それだけ伺えればいいです。そういうのを信じている方々もいるみたいだから、ここで確認しておきたくて。

(委員) 建設検討委員会の今日貰った資料を見れば、最終的な設計の案が11月ですけども、その前の建設検討委員会が10月に開催されるということであれば、次回にここで出すべき意見が、設計前の最終の提言になると思うんですよ。ですから、次回いつ頃やるのか。

もうひとつ、まだ、初回で分かりませんという方が、次回に向けて、自分の考えをまとめてきていただいて提言していただくことが必要だと思います。

ですから、もう1回この会議とすれば、今回の交流駅の関係と、地場産業の関係と2つをポイントにしてやっていけばいいんじゃないかなと。提案です。

(産業振興課担当主幹) 先ほど大ホールの方で説明しましたけれども、今回の意見をもとに、明後日の建設検討委員会に、こういう意見が出されていましてとお話しします。

それらをまとめたうえで、本当の原案の基本設計を作成し、9月に、地権者および隣接者さんの説明会。あとは、全員協議会等による議員様方への説明会。あとは、町全域の説明会を9月中に開催したいと思っております。

次回の部会は、9月末から10月上旬の予定になっておりますのでちょうどいい時期なのかなと。それらも含めて、説明会や次回この部会での意見等を取りまとめたうえで、10月末に第2回目の案を修正したものを作って建設検討委員会で説明する。また、そこでいろんな意見が出されるかもしれないので、それを修正して、最終的な案を出すのが11月末。なので、今回はもう、皆さんの好きな意見を考えてきて発表していただければいいのかなと思います。

(産業振興課長) この部会は、「地域資源を生かした産業の活性化」「かるまい交流駅」とお話ししました。次回は9月下旬から10月上旬を予定していますので、最終的な基本計画の案に対する意見としては最後になるかと思っておりますので、次回はこの部分に時間を費やして皆さんから大いに意見をもらっても結構です。

ただ、今軽米町には老朽化した施設がたくさんございます。町全体的な視点のもと、いろんな施設を含めて考えなければなりません。今のところはお話ししたスケジュールで進もうとしていますが、財政的な問題、それから土地の問題、あるいは、その土地に付随する法的な問題等があれば、ずれていく可能性は十分ありますので、その辺は申し訳ないんですが、含みおいてください。

財政的な基本的な考え方としましては、過疎債100%で考えると、90%を過疎債でお借りできます。先ほど小林主幹の方からお話ししましたが、7割が交付税バックになります。ということは、事業費のだいたい35%を除けば、交付税で帰ってきます。その点では過疎債のほうがいいです。ただ、過疎債を全部使うとなれば、道路工事をできなくなるという状況もございますので、建設にかかるものは、複数年契約で考えないとダメなのかなと。5億であれば、3年間の15億とか。もちろん計画もそうですが、財政的なものがこれから一番のネックになるのかなと。それらも含めて良い補助事業があれば、補助事業を活用したいし、ランニングコストを抑えるための、暖房費、冷房費をどうするのか、とても大きな問題だと思いますので、その辺もトータル的に考えて、本来はそのスケジュールで行きたいですが、もしかすれば、少し遅れる可能性もあるかもしれませんが、基本的に土地があって、皆さんのご意見があれば、それに時間を長くとってもいいのかなお思いますし、何もなければ前に進みませんので、それをやれる範囲内で、やればいいのかないかという考え方を持っています。できるだけ皆さんの意見を聞いていくということで。

(委員10) 補助金を使って完成させた後は、ここをええええということで、いろんなイベントとか用事で使わなきゃなくなるな。

(産業振興課担当主幹) 若い方から、町内のイベントにかかわらず、町外から集客できるイベントも考えてみたらいいんじゃないかと、すごく良い意見なんですけども、なかなか難しいのがその財源です。久慈市のアンバーホール等であっても、そんなに有名な歌手を呼んでくるようなイベントを開催できないのが実情です。

その辺は皆さんの意見として、町外から人を集めてくるような建物を建てたらいいんじゃないか？ それもできれば素晴らしいことだと思います。ただお金もかかるとお思います。コンパクトな建物、ここ10年20年後の人口減少等を考えるたうえでの、コンパクトなコストを縮小した建物にしていくか、その辺についてもですね、皆さん方の意見をいっぱい出していただければいいのかなと思います。

(委員10) 活性化というのは、軽米町に定住人口、交流人口が一人でも増えることが活性化だと承知しているんですが、さっき言っていたように、じゃあ、ここにするには、この分の客席で、それで出れるか出れないか、とういうのを最初にコンセプトがどうなってるのか決めてかからないと、確かに皆さん、勘定して考えていかないと、なかなか始まっていかないんじゃないのかなと。

(産業振興課長) 意見としてあったんですが、300人規模の施設であれば、それなりの会議等もあるんだから、逆に言えば、大きいところじゃなくて、小さいとそれなりの規模の会議もできていいんじゃないかと。そういう活用法もあるよとご意見をいただい

たこともあります。たとえば、1000人2000人のレベルとかじゃなくて、300人くらいの会議とか、学会とか、発表会とかそういうので軽米町に呼んでくればいけない。そういう意見もでております。

(委員10) 私のジャズのイベントには何十人かお客さんがいらっしゃいますので。

(産業振興課担当主幹) 補足説明として、さっき出た意見の中でも高齢者が集えるスペース、これは今後検討していくべきことだと思います。あと、医療廃棄物の調査の話があったんですが、議会の一般質問でも出されました。ただ、県立病院等を壊す際に、医療用廃棄物が発生したというものは無かったと。そういうものは出なかったということなので、今は、出ないものだとして考えている。と回答しております。ただ、基礎工事等をした場合に出てくる可能性は、あるかもしれません。その時は、産業廃棄物処理法に基づいて処理するしかないということになります。あと洪水の時のお話でしたが、昨年用地を取得した部分は、堤防の高さより約50cmほど地盤が高くなっております。測量をして、そういうデータも全て今、確認しております。ただ、それでは20年に一度の雨に耐えられる断面で、平成11年の大水害の時に改修は行ったわけですが、じゃあそれを超える雨は降らないのか？と言えば、これは、なんとも答えようがないことだと思います。ただ、水が溜まるような状態ではない。堤防よりは50センチ高い。雨等が降って、何百年たった時の洪水によっても流されないような基礎構造等については、いま、設計業者の方で検討している最中です。あと、町内のアクセス道路、これは前回の説明会でもお答えしましたけれども、元屋町の方を拡張するとかですね、その辺については、今後、併せて検討していかなければいけない事項だと考えております。

あと、道交法の話が出ましたが、これは既に警察と協議済みで、公安委員会の方と協議をした結果に基づいて、皆様に渡した配置図となっております。これで交差点の設置については、公安委員会の方から許可がもらえるという段階まで事前の協議は進みましたので、皆様にお示ししております。あと、和室以外は土足で入れる施設にしたいと思っております。あと、産直の出来る施設にした方がいいんじゃないかということで、平面図の建物の格子になっている部分に屋根をかけたいと考えております。コの字型と言いますか、青い縦線で囲まれて、施設側はチョット幅が広い。その部分に約4.50m程度の屋根をかけたい。それ以外の部分には、道路の方に向かった、3メートルくらいなんですけど、ここにも、雨が当たらないような屋根をかけたいと思っております。これは、いろんなイベントの際に、テントをわざわざ建てなくても露店が出来るとか、土日に産直の人達が来て、その場所の下で雨が降っても濡れないようにした場所で、農産物を売るなど、そういうことも出来るように今は考えております。

実はですね、最初に建設検討委員会の皆様方に見てもらった図面には、施設の周りには駐車場が無く、1回見直ししたものを、今回は提示させていただいております。前は450~500の観覧席を設けようと原案をつくり駐車場のスペースが無かったんですけども、300席プラス、パイプいす100の計400位に縮小していくと、道路沿いの部分にも、身障者含めて約15~16台の駐車場、裏の方にも、高常さん側にも、職員等駐車場として、12~13台を停めるようなスペースができ、今のところこのように考えております。

これは、建物の規模を若干、コストの縮減を図るために、縮小したということです。また、隣接する方々が、これまで土地を自由に行き来していたわけで家の外から車を

出せるとか、そういう使い方をしておりましたので、それも出来るように考えました。除雪も、雪もおけるし、自由にここを通れるようなスペースを空けたいと思って、考えている案でございます。

(委員5) 職員の方は、この道を通って出たり入ったり？

(産業振興課担当主幹) そうなると思います。

(委員5) 今私が毎日通ってるんですけども、あれは拡幅と言っても道なのか？町道ですか？

(産業振興課担当主幹) 役場が管理している赤線ですね。

(委員5) そうすると、あの道路に、もうちょっと幅を広げようという考えなんですか。そのまま使う？

(産業振興課担当主幹) 今の道路の端からですね、大体6メートル50～7メートル位の所に、建物の壁が来るイメージで、今は作っています。普通車もすれ違いが出来る。あとは、冬場はちょっと難しいかもしれないですけども、建物側に降った雪を寄せれる。普通車は普通に通れる。それくらいのスペースを設けたうえで、建物を建てたいと今は考えています。

(委員5) ここに4本の電柱があって、そのうち2本トランスが乗っかってるやつなんですけど、おそらくその辺も考えていらっしゃるんですよね。

(産業振興課担当主幹) 調査をしてほしい10本近く支障になる電柱がございます。8月中に設計業者の方で資料をとりまとめしているので、来年度工事の際に移転するとなれば、かなりの電力さんの移転費用が掛かってきますので、それは8月中に1回東北電力さんに行って、打合せをする予定になっております。

(委員5) それは電力での費用？

(産業振興課担当主幹) 東北電力さんが移設をして、移設にかかった費用を役場が出さなければなりません。ただ道路事業であれば、7割でしたか、3割出せばよかったかな？道路事業に限って、公共用地に建っている電柱の場合、7割は負担軽減を図れるんですけど、建物等のこういう事業であれば、負担軽減が図られないと思います。なので、費用は全て役場で、東北電力さんが移転した後に、これくらいかかったよっていのを補償費としてお支払いする形になります。

(副会長) 今日出された多くの意見が、建設検討委員会の中でどういう風になったのか、あるいは、もともと結論が出ているのか、これから検討するのかということ事体を委員会でお話ししていただければいいかと思います。

(委員15) 出来れば早めに次回の委員会を開いていただければいいなと思います。

(部会長) それでは、次回の部会の開催についてですけども、日中というのは皆さんなかなか難しいと思うんですけども、平日の夜ということでもよろしいでしょうか。

(副会長) 9月の末？

(産業振興課長) 基本的には9月の下旬から10月の中旬の間と考えています。

(副会長) 個人的には月末は避けていただけると、ありがたいな。

(部会長) 出来るだけ出席の多い日を選んでいただけると。

(産業振興課長) 協議の方大変ありがとうございました。全体のその他ということで皆さん何かあれば、無ければ、以上で本日の会議を終わらせていただきます。今日は忙しいところ大変ありがとうございました。